

# 「園が担う防災計画と 地域連携について Vol.2」

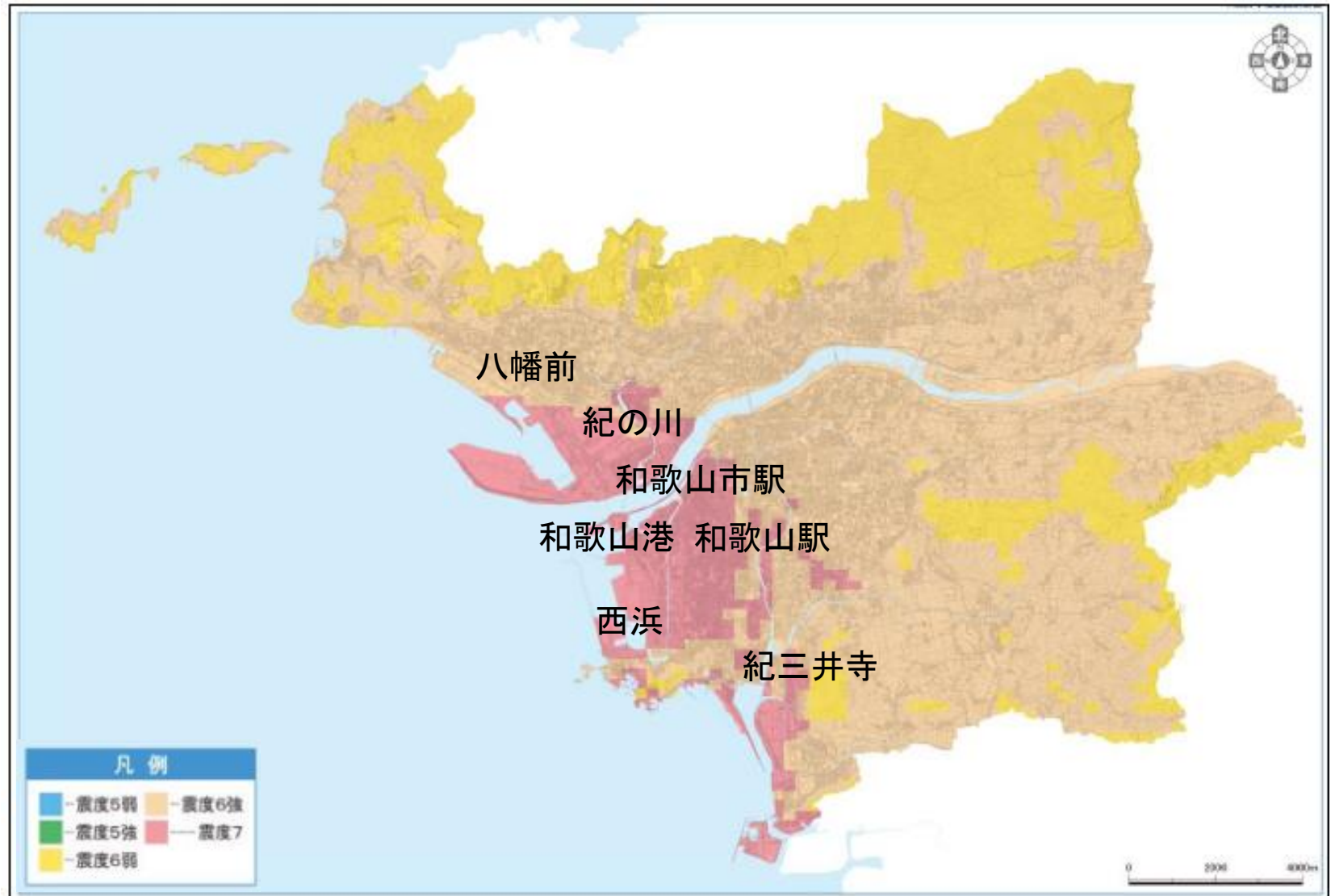
危機管理教育研究所 代表  
危機管理アドバイザー 国崎 信江  
<http://www.kunizakinobue.com>



# 和歌山市の地震被害想定 (和歌山市地域防災計画令和3年3月)

想定地震		東海・東南・南海 3連動地震			南海トラフ巨大地震			中央構造線の地震			
マグニチュード		8.7			9.1			8.0 相当			
震 度		平野部で震度5強～6弱			平野部で震度6強～7			平野部で震度6強～7			
液状化危険度		平野部で液状化危険度 「極めて高い」～「高い」			平野部の大半で液状化危険度「極めて高い」						
津波被害		沿岸部の低地の広い範囲で浸水						—			
建物 被害 (棟)	全壊棟数	揺れ等	5,200	7,300	揺れ等	32,000	55,200	地震動	33,024	33,483	
		津波	1,300		津波	10,000		土砂災害	459		
	半壊棟数	36,900			42,600			38,518			
焼失棟数		940			13,300			30,648			
人的 被害 (人)	死 者 数		2,100		18,100		1,788				
	負傷者	重傷者数		1,300		4,800		重篤者数403重傷者数2,175			
		軽傷者数		3,500		13,600		中等傷者数 4,728			
	閉 込 者		18		480		18,100				
避難者総数「1日後」(人)			133,100		227,900		避難所生活者数 130,867				
帰宅困難者数(人)			86,800		86,800		要救助者数 10,200				

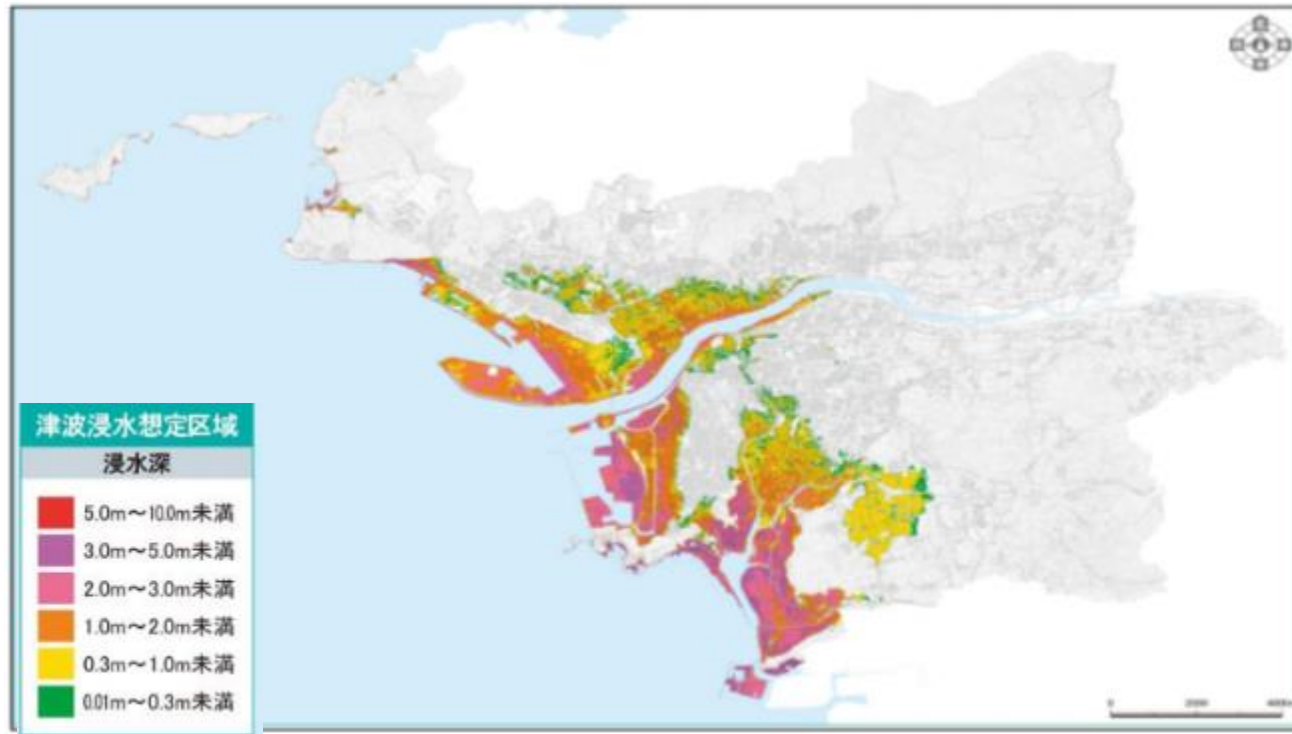
# 南海トラフ巨大地震地震震度分布図（和歌山市地域防災計画令和3年3月）



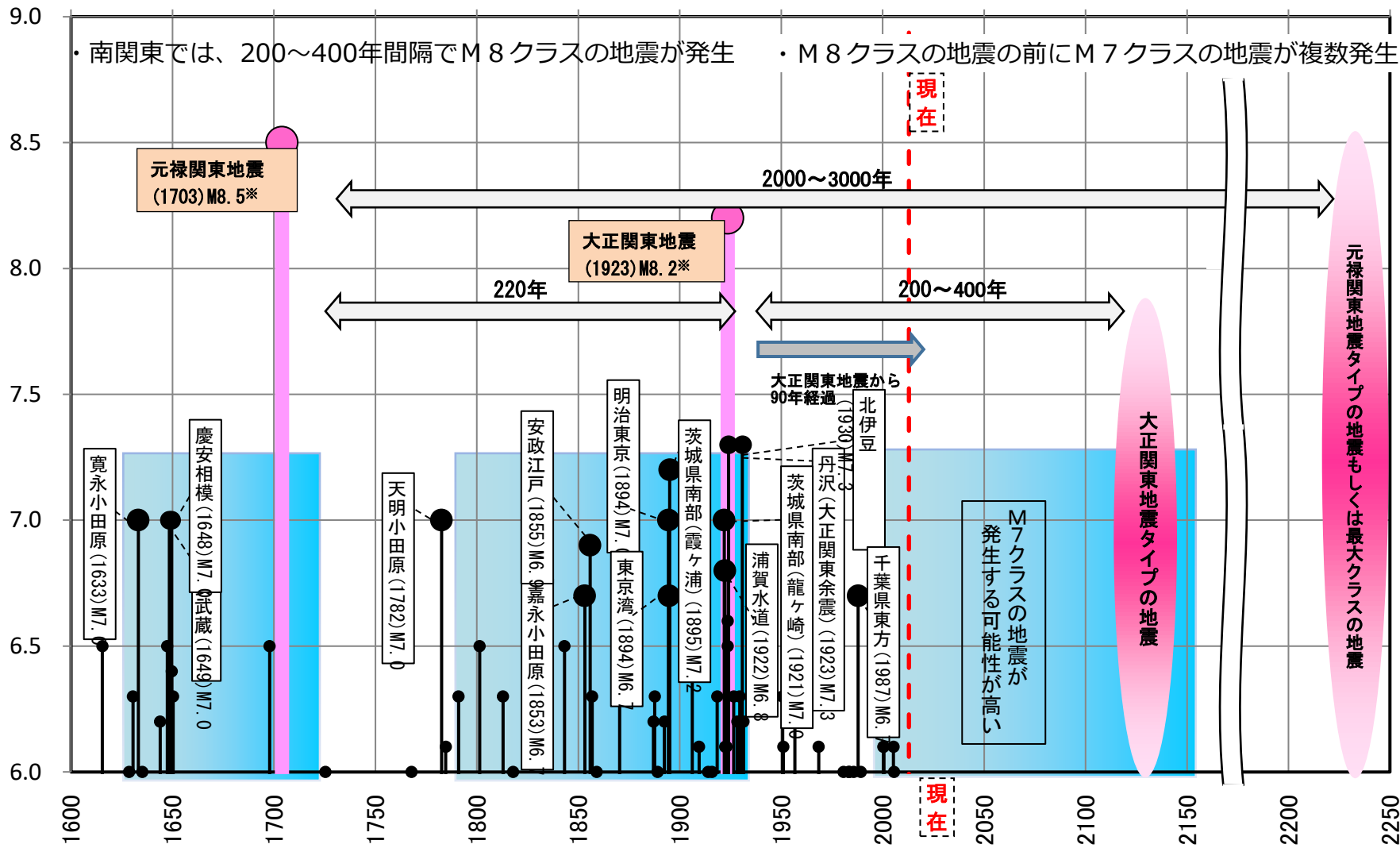
# 和歌山市津波浸水想定（和歌山市地域防災計画令和3年3月）

## 南海トラフ巨大地震 津波による浸水想定予測量

項目		予 測 量
津波高	最大	8m
	平均	6m
平均浸水深		1.5m
津波浸水面積		3,660ヘクタール
津波到達時間	津波高1m	40分
	津波高3m	50分
	津波高5m	53分



# M8クラスの地震の発生間隔とM7クラスの地震



※元禄関東地震と大正関東地震のマグニチュードは本検討会で津波の再現計算から求めた値

大正関東地震タイプの地震：今後30年間で、ほぼ0~2%  
元禄関東地震タイプの地震：今後30年間で、ほぼ0%

# 事前対策（防災年間計画例）

2021年の計画：テーマ 施設：事務所の安全環境向上 職員：応急手当の技能向上  
園児：防災の知識向上 保護者：家庭の防災力向上

	施設（事務所）	職員	園児	保護者（お便り、行事）
4月	書類整理	目黒巻研修	防災ビデオ①	預かり備蓄のお願い
5月	棚配置換え	手当訓練012歳児①	防災紙芝居	緊急連絡網作成
6月	宝飾品整理	手当訓練345歳児①	防災絵本①	引き取りについて
7月	キャビネット固定	ふりかえり	防災体操①	什器固定手伝い
8月	プリンター固定	外部セミナー	防災体操②	預かり備蓄持ち帰り
9月	電話・PC固定	手当訓練012歳児②	防災IPモニター	預かり備蓄持ち込み
10月	机固定	手当訓練345歳児②	防災ビデオ②	保護者向け防災セミナー
11月	ガラス飛散防止対策	搬送訓練012歳児	防災絵本②	ガラス飛散防止手伝い
12月	蛍光灯にカバー	搬送訓練345歳児	防災かるた	預かり備蓄持ち帰り
1月	放送機器固定	手当搬送FMB作成	防災絵本③	預かり備蓄持ち込み
2月	棚に滑り止めシート	医療・行政機関との協議	防災ビデオ③	引き渡し訓練
3月	棚に扉開き防止策	防災マニュアル見直し	防災体操③	預かり備蓄持ち帰り



# 事前の対策（防災教育）

## 【訓練】



ステップ3  
行動と学び

事前  
幼いうちから  
消火の  
正しい知恵を  
身につけましょう

### 知識のコツ

火災訓練のプログラムに、火災報知機の音を「知る、音に「慣れる」という項目を入れましょう。子どもたちには、報知音が何を意味して、どう行動すればよいかをあらかじめ伝えておきます。

実際の訓練では、  
・あそびが盛り上がりつつも報知音が聞こえるか  
・廊下でも聞こえるか  
など、様々なシチュエーションを想定して音が聞こえるかをチェックしましょう。

### \*幼い心に「火の用心」の教育を

全国の自治体の中には、地域の消防署と協力して「幼年消防クラブ」活動をしているところがあります。おそろいのバッチを着て防火パレードをして地域の防火意識を高めたり、消火訓練を見学したりする活動をしています。このような活動に参加することも検討してみましょう。

（国）の消防署を呼びこむことも検討してください。

### ＊消火教育のススメ

住宅の1戸1戸が進歩を知らずに育つ子どもも珍しくない社会環境の中で、火の便利さと恐ろしさを知る教育はますます重要になってきています。子どもが身近に火を見るのは花火を引くときや、誕生日ケーキのろうそくくらいかもしれませんが、楽しいイメージばかりではなく、扱いを間違えればやけどを負うことや、火災に巻きこまれる、正しい知恵を幼児期から身につけておくことが大切です。

### ＊服に火がついたら

コソロの先にあるものを取ろうとしたり、花火やたき火をしているときに服に火がつくことがあります。化学繊維が使われている服は、あっという間に燃え広がります。さらには傷口から火が移ると大変な状態になります。服が燃えたら、顔をよけて逃がし、すぐに水をかけ、消火するのが一番ですが、水を用いるまでの間に地面を踏がって消火を妨げる手ごわい火災も発生することがあります。

## 【訓練計画】

月	発生内容	園児のねらい	保育士の活動
4月	地震	①合図の種類を覚える。 地震ベル → ベル2回 火災ベル → ベル1回、 ②ステッカーの意味を知る 「あぶない」ステッカーから離れて「あつまれ」の場所に集まる ③体を守る ダンゴムシのポーズの習得	・自分の身を守る行動 ・適切な指示 ・子どもに不安を与えない表情 ・子どもとの信頼関係を築く ・飛来落下、移動などの危険なものの確認
5月	地震	①身の回りの物で身を守る 地震のベル → 集まれる場所に行くまでに 身近にあるものを手に取って体を守る ②ヘルメットのかぶり方を学ぶ	・保育士の言葉により行動できるようにする ・どのようなものが役立つかを教える ・ヘルメットのかぶり方を教える
6月	火災	①火災から逃げることを学ぶ 火災ベル → 「火事だー」と大声を出す ⇒ 園庭に避難 ②すぐに外に出て戻らないことを学ぶ	・発見者は、大声で知らせることを教える ・保育士も大声を出す ・煙の特性を学び、煙は速く・周りが見えなくなり、吸うと苦しくなることを伝える

# 風水害で逃げ遅れないためにもタイムラインの作成を

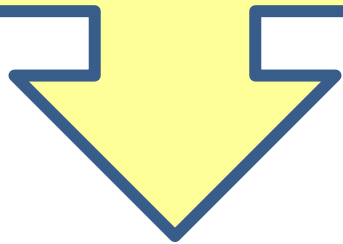
気象現象	洪水予報	自治体発表	園
積乱雲発生			集中豪雨の予兆に留意し、園庭にいる園児を建物内に避難させる、災害発生時の行動に備える
集中豪雨発生			速やかに建物の上階に避難
避難勧告や避難指示を予想される状況	氾濫注意報	避難準備 高齢者等避難開始	ハザードマップに基づき、園周辺の土砂災害発生予兆及び浸水被害情報に留意し、避難に備える 現在地に災害発生リスクがある場合は、速やかに避難を開始 保護者に緊急メール・電話連絡
災害による被害が予想され、人的被害が発生する危険性が高まった状況	氾濫危険情報	避難勧告	保護者に引き渡すときに自宅や帰路の安全を確認(危険なら滞留を勧める) 指定避難所の場合は避難者受入準備 地域の他園との情報共有(お互いに安全を確認しあう)
災害が発生するなど状況がさらに悪化し人的被害の危険性が非常に高まった状況	氾濫発生情報	避難指示(緊急)	全職員および全園児は既に安全な場所にいる 園児のケア(食事・メンタル等) ライフライン途絶を予測し行動

ここに乳幼児も含まれる



# 「最新の災害教訓を踏まえた新しい指針づくり」

和歌山市独自の  
ガイドラインの作成



各園で防災計画  
(マニュアル)  
作成



監修：株式会社 危機管理教育研究所

本ガイドラインのコンテンツ（文章、イラスト、写真など）は著作権法、関連条約・法律で保護されています。  
権利者の許可なく複製、複写、転載はできません。



# それぞれの空間における行動フロー

- 職員の基本行動
- 園内行動フロー
- 園外行動フロー
- 職員室（園長）の行動フロー
- 休憩室・ロッカー室での行動フロー
- ランチタイムの行動フロー
- 園が避難所になるときの行動フロー

**責任者不在や負傷・感染時の代理者が指揮を執るため、園長の行動フローを知っておく。**

### 【園長の行動の特徴】

- 負傷者の把握と救護、搬送の指示
- 施設の被害の把握と避難の判断
- 自衛消防隊の発動と防災用品の準備
- 重要書類の取りまとめ
- 保護者、関係機関への連絡指示
- 引き取りの準備を指示
- 2次災害防止の行動指示

『災害時において**担当に関わらず、誰であってもその場に**いる人が**迅速かつ確実な初動期のオペレーションを実現するための方法**』

災害対応の組織と担当者の役割を明確にしても、発災時は計画通り本部要員が速やかに集まれないこともあります。そんなとき、所定の場所に置いたボックスを駆けつけた人が開け、そこにある指示カードに従って行動します。指示カードは、誰であっても実行できる簡単な作業であり、何をすれば良いか一目でやるべきことがわかるように記載されています。

『本部要員が参集するまでの貴重な初動時間を、その場に**いる人で有効に対処するための行動を可能にするツール**』

<http://fmbox.jp/>（公式HP）

# <地震災害>

## First Mission Box

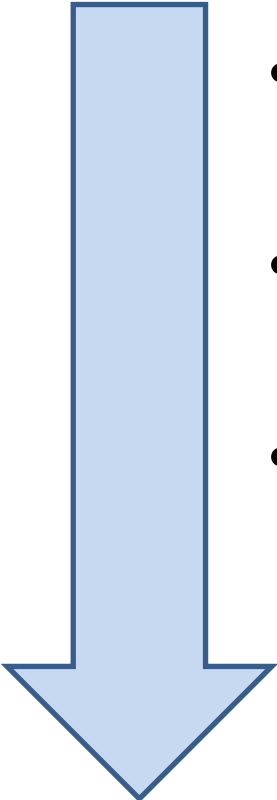
震度6弱の地震が起きたらこの箱を開けます！

〇〇市〇〇園

令和元年6月作成 ver.1



# 震度6弱以上の地震でまずすべきこと

- 
- あなたが、この箱を開いたということは地震で無事だったということですね。良かったです。
  - あなたが、これからすることは、この箱の中にあるカードに書いてあります。それを順番にやるだけです。
  - まずは、大きく『深呼吸』をしてください。慌てなくて大丈夫。落ち着いて次のカードをめくってください。



では、Missionカード

# MISSION① 安否確認

□放送機器で**3つのことを2回**繰り返し**はっきり**伝えます  
※使えない場合は園庭に出て**拡声器(棚A)**で伝えます

□①「**園児の点呼**および**職員・園児のけが**をただちに確認してください」

□②「**応援の必要な職員**は**笛を吹いて知らせ**てください」

□③「**手の空いている職員**は**笛の聞こえる部屋に急行**してください」

※津波、火災のときは「**点呼の取れたクラスからすぐに〇〇へ避難開始!**」と伝えてください

放送者名

放送時間

時

分

※拡声器の場所(棚A)は裏  
を見てください

□誰でもいいので近くにいる保育者**3人**を集めます

□3人それぞれに箱の中の**3色のフォルダ**を渡しなが  
ら中に入っている**カードの指示**を実行するよう伝えます  
※渡す順番は**赤・青・緑**(このカードの裏も見てください)

□活動の途中でも**20分後(時間を示す)**に戻って状況  
報告するよう伝えてください

赤のファイル保持者	名前:
青のファイル保持者	名前:
緑のファイル保持者	名前:

報告に戻ってくる時間

時 分

**赤ファイル：救出・救護グループ**  
(防災用品の準備、救出・救護)

**青ファイル：施設の被害確認グループ**  
(園舎、園庭、ライフライン、火災)

**緑ファイル：災害情報確認グループ**  
(災害規模、地域の被害、  
行政の災害対応、病院情報)

## MISSION③ 状況報告からの判断

□戻ってきた赤・青・緑の3人の報告を受けます。**1時間後**に再度**報告**をお願いしてください。

□**赤**「職員・園児の**負傷者が多い**ならMISSION④-1のカード」を赤の人に渡してください。

□**青**「園庭に亀裂がなければMISSION④-2のカード」を青の人に渡してください。

□**緑**「負傷者がいるときはMISSION④-3のカード」を緑の人に渡してください。」

第1回報告	時	分
負傷者数	重傷者	人(症状)
人	中傷者	人(症状)

□戻ってきた赤・青・緑の3人の報告内容を関係機関に伝えます。下の内容を参考に報告をお願いします。

※このシートの裏に関係機関一覧表があるのでリストの上から順番に連絡します。

□「〇〇市の〇〇園の〇〇です。こちらの被害状況をお伝えします。現時点での被害状況は**施設の被害**は〇〇**負傷者**〇名、**ライフライン**の被害状況は〇〇です。**周囲の被害状況**は〇〇となっています。今**困っていること**は〇〇です。そちらで**新しい情報**があれば教えてください。**今後の連絡方法**はどのようにすればよいでしょうか。」





□養生テープとマジックペンをもってゲートに立ちます

□**保護者**が来たら「職員の手が足りないので**お手伝い**をお願いします。お子さんのクラスに行って**担任の手伝い**をお願いします。まずは名札をつけてください」とつたえます

□**地域の方**が通ったら「職員のお手伝いをお願いします。〇〇職員のお手伝いをお願いします。まずは名札をつけてください」と伝えて〇〇職員まで案内します。

※「名札」は、この箱の中にある緑色の養生テープにマジックペンで名前を書いて胸に張ってもらってください。「例）保護者：高橋」

時 分時点でのお手伝い者	人(名前: )
時 分時点でのお手伝い者	人(名前: )

## MISSION④-2 青の班長がすること＝園庭に救護所

- **園庭に倉庫B**に保管している**テント**を設置します  
赤の班長が連れてきた方に手伝ってもらいます。  
※テントを張る場所は裏のイラストを参照してください
- テントの下に**倉庫B**にある**ブルーシート**を敷きます。  
※ブルーシートが足りなければ午睡用のコットを置きます
- **応急手当用品**を**事務室の棚C**から運びます
- **準備が出来たらテント**に**負傷者**を集めます  
※強風、降雨、気温の高低に配慮し、救護所の場所を決めます  
(園庭のメリットは余震による落下物の危険がなく医療機関への搬送がしやすい)

突然の雨の救護所候補

テントが足りない時の対処

)

# 地域との連携

地域の誰に何をお願い  
するのかを整理しておく。

訓練への参加をお願い  
する

子どもたちを安心させる  
ために、日頃から交流を  
深めて顔見知りになる

地域のために園ができる  
ことがあれば協力する

## ●消火支援、閉じ込め、 瓦礫からの救助の支援

〈近所の家〉  
〈近隣の消防団〉



## ●資機材の調達

〈指定避難所〉



## ●避難所までの誘導支援

〈近所の家〉 〈町会長〉



## ●避難所での支援

〈避難所運営委員会〉  
〈自主防災組織〉



## ●被災生活・業務継続支援

〈行政の担当課〉



- ✓ 園の災害リスク/安全対策/  
災害対応を事前に周知
- ✓ 引取りのルール of 順守
- ✓ 預かり備蓄や地域の防災訓練  
への参加のお願い
- ✓ 登降園時の災害対応の確認  
安否確認の連絡方法の周知

# コロナ禍における 避難所問題

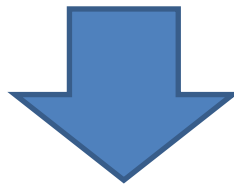




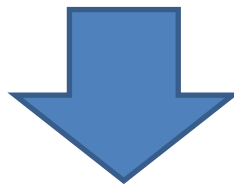
# 感染拡大時は避難所の受け入れが制限される

① 避難所の被害(非構造部材含む)により  
使用できる避難所が減る

② 感染防止のために受け入れる人数を  
制限する



③ ますます避難所が足りなくなる



④ 在宅避難や分散避難が推奨される

# 感染防止のために避難先の選択肢を多様に



避難所



ホテル



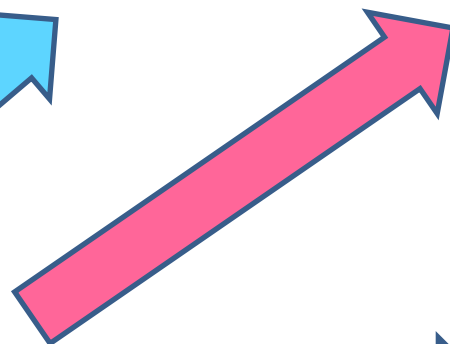
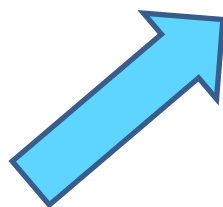
知人宅



在宅避難



車中泊



**自宅を失った職員が、避難所では感染するリスクが高まることを恐れ、寝泊まりの場所に車中泊を選ぶこともある。子どもに感染させないようにと気を遣って車中泊を選択した職員の体調面、精神的負担をどう軽減していくか、対応方針を考えておく。**

# 施設を避難所として保護者や職員を受け入れる？

## ・直後に住民に伝えるべきこと

⇒移動してもらうこともある(ほかの避難所、レイアウト)

⇒名簿の作成と同時に要配慮者の探し出し

・情報伝達手段の確保(校内放送、メガフォン、プレート、掲示板、ホワイトボード)

・レイアウト(立ち入り禁止場所、生活場所、物資倉庫、要配慮者専用スペース等)



- 災害のリスクの事前確認で避難の判断
- 園舎に留まるための対策  
(園舎の耐震性、什器類の固定、窓ガラスの飛散防止対策、備蓄等)
- 園舎が被害を受けた場合園庭での滞留対策を考える  
(エアーテント設置など)
- 園が危険な場合に園としても分散避難先を考える



# 園舎の外で待機するとき便利な災害用品



👉ドーム型テント



👉災害用トイレ



ソーラーライト👉



# 園のBCP(事業計画)

一日も早い園の再開を  
目指して



## 家庭や自治体の備蓄量が圧倒的に足りない

- 家庭では備蓄をしている家庭でも1～2日
- 被災人口に対して自治体の備蓄量も足りない(充実した備えをしている自治体でも3日程度を想定して長期化への対応はない)
- 小売店舗や流通倉庫の食品の在庫は低めに抑えられている社会的な状況

【科学技術動向研究2012年3.4月号/非常食から被災生活を支える災害食への資料より】

ここをチェック！

**避難所、家庭、職場で多くの食料を求める  
中、施設は食材の調達に困難を極める**

# 避難所の食事は子ども向けでなく園の食事が喜びに

朝食と昼食用に、おにぎり1個とパン2個の配布

夕食：お弁当（益城町は副菜のほとんどが揚げ物で生野菜は食中毒防止のためなし）カロリー過多になり持病が悪化することも



# 「災害時の食事提供」に知っておくべきこと

**日常の食材を活用**  
**災害時こそ食べ慣れた**  
**美味しい食事**  
知恵を絞って通常の食事に  
近い内容を提供する

**日本の伝統食材は**  
**栄養豊富な災害食**  
**冷蔵庫がない時代**  
**長期保存加工の工夫**  
納豆、乾物、つくだ煮 塩漬け  
みそ漬け かず漬け

**食材納入業者と連携**  
**地元業者との付き合い**  
**を大切に**  
災害時に頼りになるのは  
地元の業者

# 年齢に対応した食事対応のポイント

## 3～5歳児

成長の個人差が大きい  
食生活の基礎ができる  
時期。栄養の偏りに注意  
Bカロチン、鉄、たんぱく質、  
カルシウムの摂取を意識する

## 0歳児

調乳に必要な準備を  
液体ミルクの活用も  
調乳用の軟水の備蓄  
哺乳瓶の代わりに紙コップで  
飲ませる方法も

## 1～2歳児

成長の変化が大きい  
成長に配慮した食事  
最も手間がかかる  
市販の離乳食の活用も  
3～5歳児の食事をさらに煮込む  
配給されたものは誤嚥に注意

災害時における  
食物アレルギーの  
対応も忘れずに！



# 「災害直後の食事提供」に役立つ食材

## すぐに食べられるもの

クッキー、  
ビスケット、パン  
軽食として、保護者が  
来るまでに重宝します。



果物  
(バナナ、みかんなど)  
包丁がいらず、むいてすぐ  
食べられるものがよいでしょう。



野菜ジュース  
水分とともに栄養も  
補給します。



栄養補助食品  
子どもだけでなく、  
保育者のエネルギーに。



『災害時の食のお役立ちBOOK』 メイト

# 《参考》 災害時に役立つ日常食材

## 栄養価が高い乾物



**昆布製品**  
カルシウム、食物繊維がたっぷりて、成長を促進するヨウ素も豊富です。



**切り干し大根**  
カルシウム、鉄分、ビタミンが豊富。戻すだけで食べられます。

## 主食になるもの



**乾麺** (パスタ、マカロニ、うどんなど)  
短時間で調理しやすいもの、アレルギーフリーのものを。



**無洗米**  
水を使わないで炊ける無洗米がおすすめです。



**粉類**  
(米粉、ホットケーキミックスなど)  
お好み焼きやケーキなど、選べて様々な料理使えます。



**カットわかめ**  
発育に欠かせないミネラル、カルシウムなどを食べています。



**かんぴょう**  
食物繊維、カルシウム、カリウムが豊富。おにぎりの具にもなります。

## 調理にいろいろ使えるもの



**缶切り不要な缶詰**  
(魚や肉の缶詰など)  
新鮮な肉や魚が入りできない場合に重宝します。



**調味料**  
被災した家で、「あつてよかった」との声が複数あがりました。



**フリーズドライの野菜やフルーツ**  
新鮮な野菜や果物が手に入らない際に栄養を補います。



**のり**  
ビタミン、鉄、カルシウムなど栄養の宝庫で、「元気の素」が詰まっています。



**麩**  
ほうれん草の約1.5倍の鉄分、キャベツの2倍以上の食物繊維を含みます。



**寒天**  
食物繊維がたっぷりなほか、ガラクトースは乳児の成長を促進します。



**スープの素**  
(コンソメ、うどんつゆの素など)  
だしをとることが難しい場合に備えます。



**瓶詰**  
(サケフレーク、とりそぼろなど)  
調理の味づけにも使えて便利です。



**うめぼし**  
おにぎりの具としても、調味料としても使えます。



**ふりかけ**  
ごはんにかけて、不足しがちな栄養素を補います。

## 『災害時の食のお役立ちBOOK』 メイト



# 《参考》ポリ袋調理法の手順

## 用意するもの

### ポリ袋



薄手のものでなく、食品包装用の耐熱130℃程度のものを選び。

### 水



水道が使えれば、水道水で可。鍋の6分目程度まで入れる。

### カセットコンロ



どんなものでもよいが、火力が強いもののほうが使い勝手が良い。

### 鍋



深めで直径20cm以上が目安。大きすぎると加熱時間がかかるので注意。

### 皿



ポリ袋が鍋底にじかにふれないために置くもので、鍋の直径より小さいもの。

### Point!

#### ポリ袋の選び方

- 食品包装用、食品・冷凍保存用等と表示してあるもの
- 「高密度ポリエチレン」と表記してあるもの
- 25cm×35cm程度のものが使いやすい

## 調理手順

5 適した時間、温める。



3 ポリ袋をねじりながら水圧で空気を抜き、上部で口を結ぶ。  
**注意** 材料は平たく均一に。量を入れすぎるとムラが出たり、ポリ袋が裂けやすくなる。



1 ポリ袋に食材、調味料を入れる。  
**注意** 途中で味見ができないので、調味料、油の量はしっかり計る。



4 鍋の中のお湯に入れる。  
**注意** ポリ袋が鍋肌に触れないよう、鍋底には皿を敷く。  
**注意** 吹きこぼれないように、鍋の水は6割程度で。



2 鍋やボウルに水を入れ、①を入れる。



**参考**  
ごはん1合分(米1カップ、水180ml)は、洗った湯の中に約20分入れ、火を止めて10分蒸らすと炊きあがります。

## ポリ袋調理のメリット6つ

水が少なくてすむ

調味料が少なくてすむ

風味づけ以外の食用油脂が不要

うまみや栄養素が逃げない

一つの鍋で複数の調理が可能

半真空状態で材料に火が通りやすい

## 『災害時の食のお役立ちBOOK』 メイト



# 災害時の食事提供のアイデア

## 「ポリ袋調理法」の手順

料理するための熱  
そんな災害のさな

### 用意するもの

#### ポリ袋



薄手のものでなく、食品包装用の耐熱130℃程度のもを選ぶ。

#### 水



水道が使えれば、水道水で可。鍋の6分目程度まで入れる。

#### カセットコンロ



どんなものでもよいが、火力が強いもののほうが使い勝手が良い。

#### 鍋



深めで直径20cm以上が目安。大きすぎると加熱時間がかかるので注意。

#### 皿



ポリ袋が鍋底にじかにふれないために置くもので、鍋の直径より小さいもの。

### Point!

#### ポリ袋の選び方

- 食品包装用、食品・冷凍保存用等と表示してあるもの
- 「高密度ポリエチレン」と表記してあるもの
- 25cm×35cm程度のものが使いやすい

### 調理手順

5 適した時間、温める。



3 ポリ袋をねじりながら水圧で空気を抜き、上部で口を結ぶ。  
**注意** 材料は平たく均一に。量を入れすぎるとムラが出たり、ポリ袋が裂けやすくなる。



1 ポリ袋に食材、調味料を入れる。  
**注意** 途中で味見ができないので、調味料、油の量はしっかり計る。



4 鍋の中のお湯に入れる。  
**注意** ポリ袋が鍋肌に触れないよう、鍋底には皿を敷く。  
**注意** 吹きこぼれないように、鍋の水は6割程度で。



2 鍋やボウルに水を入れ、①を入れる。



### 参考

ごはん1合分(米1カップ、水180ml)は、沸騰した湯の中に約20分入れ、火を止めて10分蒸らすと炊きあがります。

# 給食施設における事前対策

- ①耐震性の高い施設、施設内の被害軽減対策(飛来落下物の固定)
- ②非常用設備(電源、水、ガス 情報システム)
- ③防災計画(災害時における給食提供に関するマニュアル)の作成  
※新潟県災害時栄養・食生活支援活動ガイドライン 実践編 参照
- ④備蓄の整備(主食・副食・飲料水・調理用水・食器・緊急用熱源)
- ⑤災害時の献立表の作成
  - ・栄養価の計算
  - ・食品構成表
  - ・献立の作業工程
  - 【非常用熱源・食材・容器の保管場所・洗浄・消毒方法 (調理器具・食材・手)・作業担当者割り振り・タイムスケジュール (時間配分)・衛生管理ポイント・配膳方法】
- ⑥廃棄方法の確認  
(賞味期限の告知、廃棄方法の伝達、分別および廃棄物の管理)
- ⑦非常時給食提供訓練の実施

# 給食施設における関係機関との連携を事前に確認する

- ①施設内の組織体制、指示系統の明確化
- ②行政主管課および保健所担当課の把握  
→ 災害時の給食提供に関わる計画づくり
- ③市町村の災害対策本部との連絡体制  
→ 食料、物資、水等の支援要請先を事前確認
- ④給食設備の事業所の連絡先  
→ 補修等に関わる緊急時の連絡先の確認
- ⑤外部業者、系列施設、所属団体との災害支援体制強化

※食品納入業者、栄養士会、調理師会等と  
支援内容について明確にしておく

**【電気】 自家発電機、ポータブル発電機  
蓄電器、発電機用の燃料/オイル等  
※燃料の調達先、使用方法の確認**

**【水】 井戸、受水槽、給水車  
※井戸は汲み上げポンプ用電力を確保**

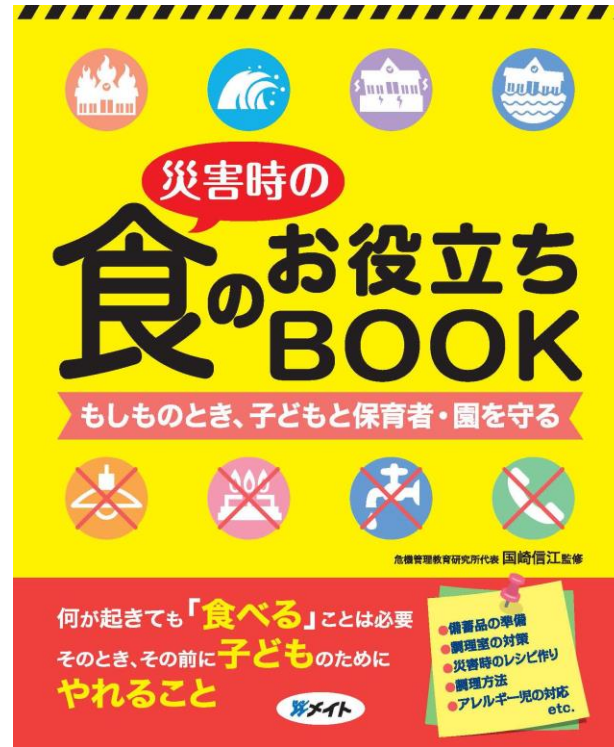
**【ガス】プロパンへの切り替え、カセットコンロ  
炊き出しかまど等  
※燃料の確保**



# 新刊図書案内



メイト



メイト



ひかりのくに



東京書店